

NEWS

from

MIYAGI

PREFECTURAL

ARCHIVES

宮城県公文書館だより

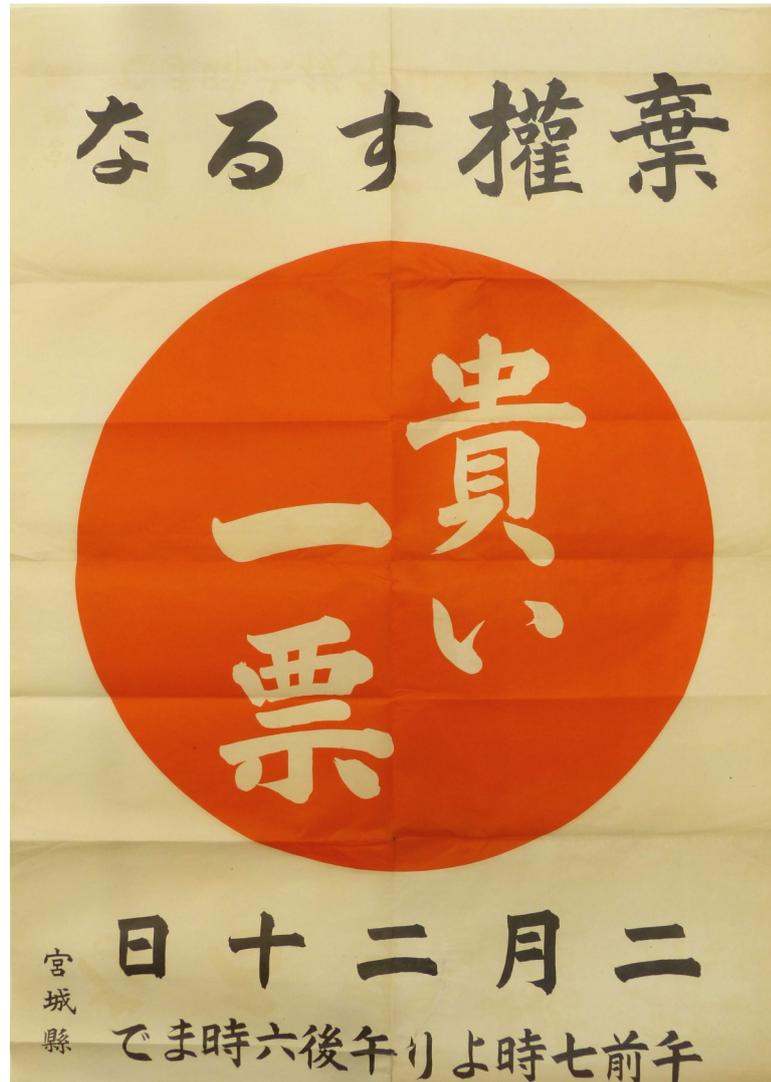
第 45 号

公文書レポート①
戦前宮城の衆議院
選挙と多様な文字

公文書レポート②
歴史公文書の中を
のぞいてみよう！
～いろいろな歴史
公文書のカタチ～

コラム
内容調査のひそかな
楽しみ

絵図面収蔵資料目録
の検索結果に見る絵
図面資料の収蔵状況



第18回衆議院議員総選挙ポスター 【S7-137】（例規一衆議員関係）

昭和7年（1932）に行われた第18回衆議院議員総選挙は、満25歳以上の全ての男子に選挙権が与えられて以来、三度目の普通選挙でした。宮城県では投票の棄権防止のため、ポスターやチラシを大量に発行し、さまざまな広報を行いました。この選挙における宮城県の投票率は86.6%となり、当時の県民の政治意識の高さがうかがえます。

「棄権するな」「貴い一票」といったシンプルな標語には、投票参加への強いメッセージが感じられます。

【 】は、当館所蔵資料の整理番号を表しています。

公文書レポート①

戦前宮城の衆議院選挙と多様な文字

1 戦前の選挙——普通選挙法の時代

昭和7年（1932）2月20日の第18回衆議院議員総選挙（以下、衆院選）の簿冊【S7-137】が当館に所蔵されています。当時の宮城の選挙区は2つに分けられ、一区は定員5人で、仙台市、刈田・柴田・伊具・亘理・名取・黒川・加美・志田・遠田郡でした。二区は定員3人で、玉造・牡鹿・桃生・栗原・登米・本吉郡となっていました。一区では、黒川郡富谷村（現 富谷市富谷新町）出身の内ヶ崎作三郎（1877～1947）が1位当選し、戦後、宮城県知事となる佐々木家寿治（1886～1954）も初当選しました。

2 投票に使われたさまざまな文字

第18回衆院選では、実にさまざまな文字が投票に使用されました。漢字、仮名文字の他に、点字、ローマ字、ハングルも投票に有効だったのです。

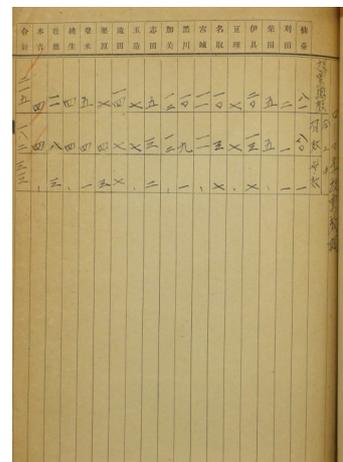
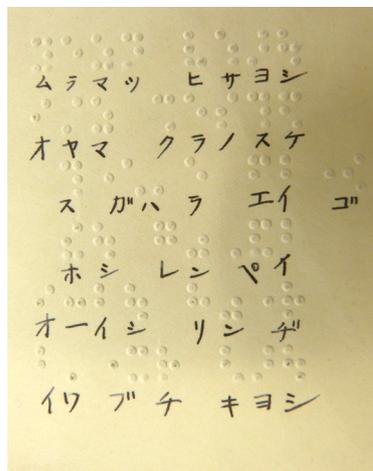
● 点字

大正14年（1925）の普通選挙法の成立とともに、点字による投票が認められ、視覚障害者も投票できるようになりました。資料2は、二区の候補者名を点字表記したものです。各投票所には点字機と「点字投票」という印鑑が設置されました。

● ローマ字

大正13年（1924）の第15回衆院選でローマ字投票が認められました。なぜローマ字投票が行われたのでしょうか。それは、明治以降に日本語を表記する文字として漢字と仮名を廃止し、ローマ字に統一しようという運動があり、大正10年（1921）には「日本ローマ字会」として日本式ローマ字の普及活動が行われていたためです。第18回衆院選の宮城県ではローマ字投票数が、215（有効182／無効33）票ありました（資料3）。戦前の宮城県にも、日本語を書くときに、漢字や仮名文字の代わりに、ローマ字を使う人々が一定数いたことがこの資料から分かります。

	氏名	所属	得票数
宮城一区	内ヶ崎作三郎	民政	23,052
	守屋栄夫	政友	21,261
	宮沢清作	政友	20,449
	菅原傳	政友	19,784
	佐々木家寿治	政友	17,518
宮城二区	星廉平	政友	18,704
	大石倫治	政友	17,798
	村松久義	民政	13,488

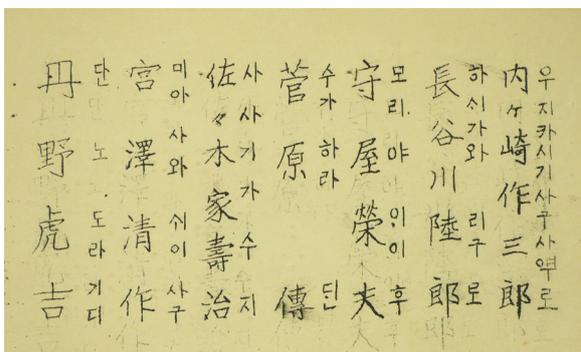


資料1 第18回衆院選当選者（宮城県）
※候補者数 一区7名／二区6名

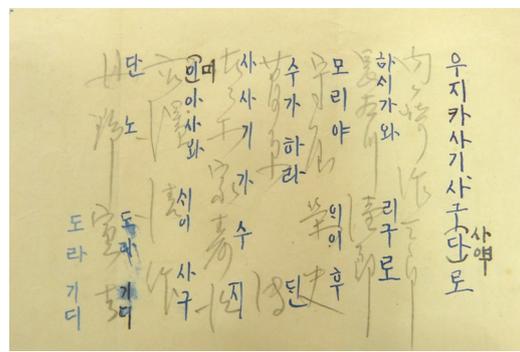
資料2 候補者名の点字表記
（宮城二区）

資料3 ローマ字投票の総数調査

● **ハングル**……戦前、日本は内地在住の朝鮮人の参政権を認め、普通選挙法の成立後には朝鮮人有権者の数も増えました。しかし、当初はハングルでの投票は無効であったため、朝鮮人の投票には言語の壁がありました。その後、昭和5年（1930）にハングルでの投票が認められます。第18回衆院選はハングル投票が有効となって以来、二度目の選挙でした。昭和7年の宮城県には、1,286人の朝鮮人がいたと推定されており、そのうち常住する男性は565人（未成年を含む）いました。資料5、6は、宮城一区の候補者名をハングルで表記したものです。漢字の日本語読みで翻訳していることが特徴的ですが、それは、候補者名を朝鮮語読みで翻訳すると無効になるためでした（例：×朴→パク ○朴→ボク）。ちなみに、現代韓国語では、内ヶ崎作三郎／うちがさき さくさぶろう／우치가사키 사쿠사부로とも翻訳できますが、資料と比較すると「が」や「ぶ」の濁音のハングルが異なります。日本語の音には、ハングルでの表記が難しいものもあり、資料からは当時の翻訳者の苦勞が読み取れます。



資料5 候補者名のハングル表記（清書）
（宮城一区）



資料6 候補者名のハングル表記（下書き）
（宮城一区）

3 棄権防止の広報活動

「選挙ノ精神ヲ普及徹底シ棄権ノ防止ヲ図ルハ普選ノ実ヲ挙クルニ於テ極メテ其ノ必要ヲ痛感スル所ナルヲ以テ地方ノ实情ニ応シ講演ポスター宣伝ラヂオ利用等適切ノ方法ニ依リテ選挙民ノ理解ト自省トヲ促シ棄権者ノ減少ニ努ムヘキコト」 ※旧字は新字に改めた

上記は、内務省より知事宛に送られた投票棄権防止策の依頼文からの引用です。これを受けて、県は選挙ポスター15,000枚（本号表紙）、チラシ250,000枚を印刷し、各市町村の役場、警察署、官庁、会社、工場、銀行、鉄道各駅、新聞社などに掲示を依頼しました。また、仙台放送局（現在のNHKラジオ第一放送）で棄権防止を宣伝したり、投票日に電車の側面に棄権防止の広告を掲示したり、役場でサイレンを鳴らしたりするなど、さまざまな棄権防止策を依頼した記録が資料に残されています。

今日ではテレビ放送、SNSなどのインターネットを活用した新たな選挙広報活動が行われていますが、戦前の選挙でも棄権防止のさまざまな広報が積極的に行われていました。若者の政治離れや投票率の低下が問題とされる昨今ですが、投票棄権の問題は、今も昔も変わらない民主主義の根本的課題であるといえるでしょう。

（公文書等専門調査員 伊藤 空）

《参考文献》

松田利彦『戦前期の在日朝鮮人と参政権』明石書店、1995年

田村紀之「植民地期の内地在住朝鮮人世帯と常住人口」『国際政経論集（二松学舎大学）』第17号、2011年

公文書レポート②

歴史公文書の中をのぞいてみよう！

～いろいろな歴史公文書のカタチ～

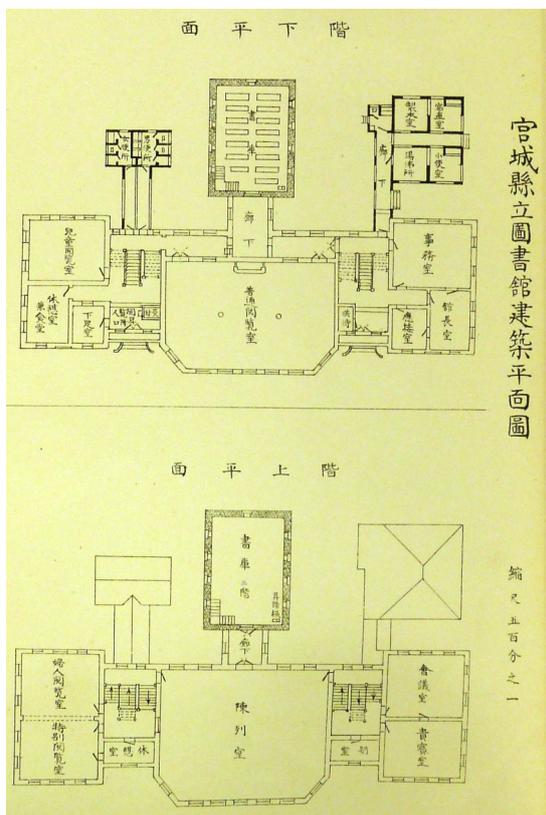
■ 企画展で当館所蔵資料「図書館落成式書類」を紹介しました

当館では、今年度の企画展として「宮城県公文書館のお仕事紹介」を開催しました。歴史的公文書の選定・収集から管理・保存に至るまでに、具体的にどのような仕事をしているのか、テーマごとに展示しました。

その中で、当館の所蔵資料として「図書館落成式書類」（【T2-71】）を紹介しました。この簿冊（※行政文書ファイルのこと）には、写真や図面などの資料が多く含まれているので、当時の宮城県図書館の様子を詳しく知ることができます。



資料1 宮城県立図書館（大正元年当時）の写真。本館は木造2階建て、書庫は3階建てレンガ造りの近代的洋風建築。昭和20年（1945）7月の仙台空襲で焼失した。



資料2 宮城県立図書館建築平面図
（上：階下平面、下：階上平面）

例えば、館内の平面図（資料2）からは「普通閲覧室」の他に「婦人閲覧室」があったことが分かります。「普通閲覧室」の写真（資料3）をみると女性の姿は見当たらず、閲覧室が性別で区別されていたことがうかがえます。当時は全国的にみても、男女別に閲覧室が設けられているのが一般的でした。



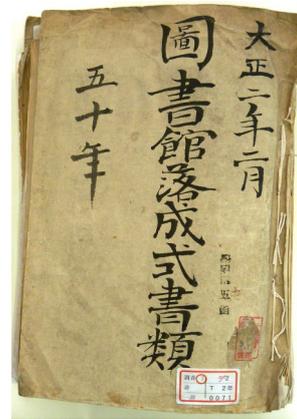
資料3 「普通閲覧室」の様子。服装などから、男性しか利用していない様子が見て取れる。

■ いろいろなカタチの歴史公文書

さて、「なぜ写真や図面が公文書？」と疑問に思われる方もいらっしゃるかと思います。公文書というと、どうしても文字資料のイメージが強いと思いますが、実は文字資料に限らずいろいろなカタチ（媒体）のものが存在します。

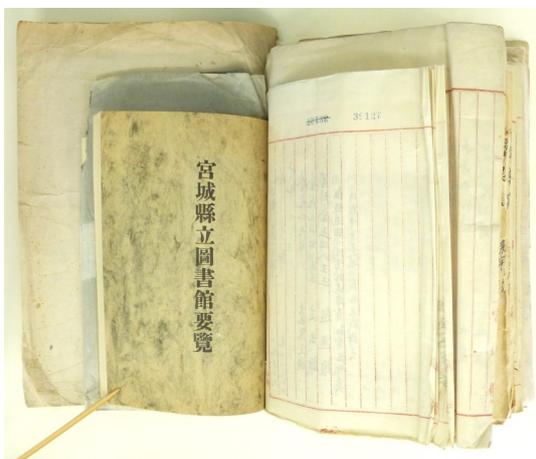
そうした公文書が実際にどのような状態で綴られているのでしょうか。前頁で紹介した簿冊を例に、歴史公文書の中をのぞいてみましょう。

「図書館落成式書類」という簿冊（資料4）には、大正2年（1913）2月に開催された図書館新築を祝う落成式に関わるさまざまな文書が綴られています。例えば、行政では、何かを購入（支出）するときには必ず購入してよいかどうかの伺いをたてますが、この簿冊にもそうした多くの支出関係文書が存在します。具体的には、300名分の案内状や、その発送に必要な切手、出席者に配布する記念品類や振る舞う食事、酒、菓子など、購入するものそれぞれについての伺い文書が業者の見積書などの添付文書とともに綴られています。



資料4 「図書館落成式書類」

こうした支出関係の文書に加えて、この簿冊には、発注して実際に出来あがったもの（成果品）が綴られています。例えば、案内状や、当日出席者に配布された館内略図と食堂席次表、そして記念品の『宮城県立図書館要覧』（資料5）と記念絵葉書（資料6）です。『宮城県立図書館要覧』には前頁で紹介した写真や図面が掲載されており、当時の様子を私たちに伝えてくれます。



資料5 「図書館落成式書類」の巻末に『宮城県立図書館要覧』の冊子が綴られている様子

冊子の後ろには「案内状雑」と書かれた封筒が綴られており、中には案内状と記念絵葉書が入っている。



資料6 記念絵葉書

支出関係の文書から400部作製されたことが分かる。

私たち調査員は、日々の業務の中で、思いがけずさまざまなカタチの歴史公文書に出会うことがあります。これからもそうした資料を皆さまにより多くお伝えできるよう努めていきたいと思ひます。 (公文書等専門調査員 後藤 利恵)

《参考文献》

青木玲子、赤瀬美穂『女性と図書館——ジェンダー視点から見る過去・現在・未来』日外アソシエーツ、2024年

コラム

内容調査のひそかな楽しみ

公文書にはさまざまな媒体のものがあります。図面、写真、スライドやフィルム、電磁的記録などが挙げられますが、それらは写真集のように単体で存在するものもあれば、簿冊の中に文書と一緒に綴られている場合もあります。古い公文書を紐解いたときに、思わぬところで写真と出会うこともありました。今回はその中から、大正時代の写真を紹介したいと思います。

青葉神社は、仙台市青葉区青葉町にある仙台藩祖伊達政宗を祭神とする神社です。明治7年（1874）に創建されました。大正11年（1922）に社殿の改築工事が始まり、昭和2年（1927）に現在の社殿が完成しています。

「社寺一神社 青葉神社奉賛会 明治34年」【T14-34】の中に、一枚の写真が収められていました。これは拝殿を建立する際の斧始（おのはじめ）祭りの様子を、当時仙台にあった小川写真所が撮影（大正14年（1925）11月24日撮影）し、アルバムに仕立てたものを後日関係者に配ったものと考えられます。



アルバム表紙裏に記入された撮影日等の記録。台紙に印刷された写真館名などから、写真の情報を得ることができます。【T14-34】



調査というと堅苦しく思われるかもしれませんが、このような当時の生活の分かる写真を発見することは、作業中のひそかな楽しみとなっています。

なお、青葉神社の創建から昇格運動などに関しては、『宮城県公文書館だより』第31号「公文書レポート 伊達政宗と青葉神社」にまとめられています。興味を持たれた方は、そちらも併せてご覧ください。バックナンバーは当館のウェブサイトで公開しています。

（公文書等専門調査員 木幡 真喜子）

絵図面収蔵資料目録の検索結果に見る

絵図面資料の収蔵状況

当館では、江戸時代から明治・大正期にかけて作成され、本県に公文書として提出された2,064点の地籍図等の絵図面を収蔵しています。この絵図面には、今では失われた県内各地の姿や当時の土地利用状況等が残されていることもあり、郷土史研究者や先祖調査を行う方々から多くの閲覧希望が寄せられます。本誌では絵図面資料を度々紹介していますが、今回は趣向を変え、当館ウェブサイトで開催中の収蔵資料目録【絵図面V】に掲載されている江戸時代から明治期までの絵図面1,990点に係る情報検索の結果を報告します。当館では、絵図面に関わる公文書も多数収蔵していますので、ご興味のある方はご来館の上、絵図面と公文書の双方を実際に確かめてみてはいかがでしょうか。（公文書等専門調査員 阿部 智）

表1 収蔵資料目録【絵図面V】「簿冊名」の検索結果

検索ワード	点数	検索された資料	検索ワード	点数	検索された資料
1 絵図面	1905	名称に「絵図面」文字あり	2 絵図面以外（※）	85	名称に「絵図面」文字なし
1-1 官（官有地）	272	官有地絵図	2-1 境内	50	各郡寺社境内外区画図面
1-2 国有原野	17	国有原野絵図面	2-3 堂宇敷地	15	各郡堂宇敷地区画図面
1-3 耕地絵図	121	耕地絵図面	2-4 寺	3	各郡寺地図
1-4 秣場	13	秣場絵図	2-5 社	2	民有郷村社地図
1-5 囲図	36	囲図面	2-6 宅地	6	仙台大区各小区内宅地図
1-6 鉄道用地	13	鉄道用地絵図面	2-7 小学校	1	小学校平面図
1-7 小学校	6	小学校平面図	2-8 村	8	玉造郡内各村絵図
1-8 宮城郡仙台	10	仙台大区各小区絵図面	中分類資料合計	1990	
1-9 村（浜・町）	1301	各郡各村・浜・町絵図面	・作成年：天和3年（1690）から明治41年（1908）まで		
1-10 絵図面	59	上記以外の絵図面	・※「絵図面以外」は検索ワードではありません		

表2 表1に赤字で表記した絵図面1378点に係る収蔵資料目録の「簿冊内容」記載事項の検索結果等

検索ワード	点数	検索ワード	点数	検索ワード	点数	検索ワード	点数				
地籍図	132	地図	9	村縮図	23	※名称なし	53				
地引図	51	村絵図	210	村図	302	※その他	105				
全図	95	村区画図	7	麓絵図	35						
平面図	20	村略図	83	大区	253	小分類資料合計	1378				
作成年の有無	点数	縮尺の有無	点数	縮尺表示の種類	点数	彩色の有無	点数				
※簿冊内容の 記載事項②の 項目	あり	255	あり	23	※比率表示	6	※簿冊内容の 記載事項④の 項目	あり	23		
					※分数表示	17		なし	0		
					※比率表示例：一間一分 (600分の1)			あり	227		
	なし	1123	なし	232	※比率表示例：一間一分 (600分の1)			なし	5		
					あり	96		※比率表示	16	あり	96
								※分数表示	80	なし	0
なし	1027	なし	1027	※分数表示例：600分の1		あり	997				
						なし	30				

注) 表中の「※」印の文字は検索ワードではありません。資料点数は、任意の文字検索結果によるものであり、実際の資料数と異なる場合があります。また、収蔵資料目録の別項目である「特記事項」欄の記載内容に着目して検索すると、本表とは異なる結果が出ます。

絵図面デジタルデータを追加します！

令和7年度、新たに10点の絵図面デジタルデータが公開（CD-ROMで有料頒布）されます。今回データ化した絵図面は、登米郡、玉造郡、黒川郡、加美郡、栗原郡のもので、複製資料のない絵図面を優先してデジタル化しました。また、これまでのデジタルデータも含めて、専用パソコンにて館内閲覧ができますので、ご活用ください。



絵図面（登米郡米谷村）（部分）【V-932】

◆開館時間

午前9時～午後5時 ※閲覧・複写の受付は、閉館時間の30分前まで。

◆休館日

毎週日曜日・月曜日・土曜日を除く国民の祝日・年末年始

※臨時休館日もあります。ご来館の際は当館のウェブサイト等でご確認ください。

※『宮城県公文書館だより』バックナンバーは当館のウェブサイトでご覧いただけます。

宮城県公文書館だより 第45号

令和7年（2025）3月15日 発行

編集・発行 宮城県公文書館

〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山1-1-1

電話 022(341)3231 FAX 022(341)3233

E-mail koubun@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koubun/>

